夕刊
磐城新聞
三月十五日發行

定價 一部金五錢 一ケ月金六拾錢（郵稅拾五錢）
廣告料金（普通欄 金六拾錢 特別欄 金九拾錢）五行十二字詰一行一回（場所指定一行十錢增）
編輯印刷兼發行人 福島縣石城郡平町 遠藤(?)龍覇
發行所 田町十六番地 磐城新聞社
登録受信電略（タイラノワキ） 平局私書函第十二號 電話五六四番
（日曜祭日休刊）

隨筆『水戸の一日』
球城生

○昨日水戸の梅を見た人出十萬と新聞紙は報じてゐるがすばらしい人出であつた。けれども公園に行つて實際の狀況を見てはあの雜沓と梅とは甚だしくそぐはない感じを持つものは恐らく自分一人ではあるまい。○一体梅は淸楚といつた感じの花で浮き出たせる樣な性質の花ではない『靜かに香を聞く』といつた對照にふさわしい花である。それにあのモガモボの ゴッタ返し、物質の呼聲と馬鹿ばやしのジャヅ餘りにも釣り合はない光景だ。○水戸紅襷連の手踊りもケバ／＼しく飾られた舞臺で行ばれて人を呼んでゐたがそれなども場所柄らしく感ぜられない。○法被連中が圓陣を作つた露天の宴會も何だか賴まれてやつてゐる樣な感じだ。○中に一人の老翁杖を賴りに人の見向きもしない苔むした老木の前に佇んで見上げ見下ろしてゐたがこれが本當の梅見の姿ではないかと思はれてうれしかつたこれで始めて梅の眞價が發揮されるといふものであらう ○十萬の人間の大部分は水戸市の巧みな宣傳につられて群衆心理の支配を受けて梅見ではなく人見に集まるのであらう。然かし水戸市としては實際に巧みにこの歷史ある梅を利用したものではある。梅心あらば恐らくは涙なしにはゐないだらう、そして地下の水戸公は苦笑をもらしてゐられる事だらう。○水戸を離れて東に六里大洗に常陽明治記念碑を見たこゝでは水戸の梅に對する不滿を補つて尙殘りあつた規模まだ小なりと雖ここに藏された寶物明治大正今上三天皇並びに各皇族方の御親筆御物それは恐らく東都に於ても見得ざるものであらう。○殊に天皇の御直筆の御手紙御日記等を目のあたり拜觀しては甚だ畏い次第ではあるが人間としての御親みをしみ／＼と感ぜられたのであつた、百萬遍の忠君愛國の鼓吹よりも一度のこの拜觀が遙かに力強い効果があるではないかと思はれる○恐らくは將來は歷史的に奈良の正倉院に比すべきものになるであらう。只こゝで氣になつたのは說明者の態度だ。得々として說明するのはよいが自己の知識をはこりがにいらざる蛇足を添へるのはいけない、御物を時價五萬圓だとか二十萬圓だとか評價するなどは御物の尊嚴を冒瀆するものだ。○某の宮樣の御歌に『たまくらの云々』とあつたのを『たまくらとは手枕のことで』などゝやつて御歌を御詠みになつた時の御心境にまで立ち至つて說明するなどは僭越も甚だしい、湧然として起る敬虔の念を亂される事夥たしい。○とも角も常陽明治記念館は茨城の地に過ぎたるものゝ一つだ。

鳥の子
山口正夫

かやの木山の
鳥の子
ゆさゆさゆすれば
かやの實は
いつかこぼれて
草の中
草をわければ
かやの實は
前掛に
草刈乙女の
かやの木山の
はせた實を
なきなきゆする
鳥の子

3月16日 △小松宮彰仁親王征淸總督を命せらる—（明治二八）△藤田東湖生る、父幽谷は十三歲にて『正名論』を著した偉人である、その血を渾身に承けたる東湖幼より人に秀でたる天禀を有す、東湖の偉人なりしは全く幽谷の深厚なる家敎に基く（文化三）△松平伊豆守信綱卒す、徳川氏の功臣智慧伊豆守の稱あり（寬文二）△鐵嶺占領（明治三八）△伊太利フューメを併合す（大正一三）

一日一禪
○遲々春日風光動 陽燄紛紛曠野飛

講談 元祿名妓傳
小邑井小巴演（宮野恒彦畫）
第二十三席

連れもなく野に棄てられし、冬の月、お話しは戻つて鬼小僧の宗一、金谷の里で草鞋を穿き替え横道に切れて衣笠の城の跡へ入つて來ました此の衣笠の城あとゝ云ふのは、有名な鎌倉時代の、三浦大助義明の、城の跡でございます、昔の城だから分內がせまい其時代の庭でゞもあつたものでせうか小さな池……それは今では、くぼみになつて居ります、其傍に一本の松があつて、地にはふ樣に枝が垂れてゐる、澤山松もあるが形が異樣だから、人呼んで一本松と云つてゐる、分內がせまいから直に其處に來て見たが、素より駕籠のありやうはない 宗『ハテナ、何うしやがつたのだらう、神奈川の旅籠で、チャンと相談が出來て居たから、ウツカリ氣を許して居たが、奴等に一杯くはされたかなドレ／＼』其處は惡黨、格別騷ぎも致しません、石をうつて火を出し、木の根へ腰を掛けて煙草をすひ、靜かに其邊を一廻り廻つて見ました 宗『何處にも隱れる場所がねへ、是りや變だぞ愈々一杯くつたかな、駕籠屋風情に、大きな仕事を横取されたとあつては、鬼小僧の名にかゝはる、奴等だつてどうせ眞面目な手合でねへ、浦賀へ玉を運び込む氣支ねへから、トモすると大明神山へ、連れ込みはしめへかな、此の先には最う仕事をする樣な場所がねへ大明神山だ大明神山に違ひなからう』じやの道はへびが知つてゐる、忽ちそれと感づいて、直に取つて返しました、總門前へ來ると、門內からヒョックリ寺男が飛出し、不思議そうに宗一の姿を見てゐる、手には大明寺と記した、提ちんをさげて居ります 宗『モシ／＼ちよつと……』男『ハア何だね』宗『付かぬことを、お聞き申しますが今の先、駕籠が一挺中へ入つたのを見掛けませんでしたか』男『駕籠……あゝ入つたよ、たしかに一挺』と立止つた宗一早くも知つてゐるなと喜ひ 宗『右から入りましたかい、それとも左から入りましたかい』男『ごつちから入つたか夫は分んねへが何しろ寺へは一挺付いてるよ』宗『えッお寺へ……』宗一面くらつた、總門から寺までは餘程の距離がございます、すかして見ても分らないが、寺へ着いたと言へば、擔ぎ込んだに相違ない、シテ見ると雲助共め娘に此方の一件を耳打し、助けて貰ひに寺に入りやあがつたのか、佐倉屋出入りの奴等、皆此方の畑けで眞人間ぢやねへと、思つたのは間違ひだつたか、何うするものか一つブッかつて見よう、根を洗はれたら夫までだと、度胸を据える 男『ドレ／＼御用が遲くなる』寺男はどん／＼行つて終ふ、宗一は總門を入つて仁王門それから本堂を眞正面に見て、右へ廻つてグルリッ……臺所へ來ると、其處に一挺の山駕籠が乘棄てゝある皆形は同じものだから流石の宗一も早合點して、お房は此處に居るものとのみ込んだ 宗『御免なさい』中坊主が×『何だい、お前は……』宗『少々お尋ね致します、今晩寺へ御厄介になつた娘がございませう、手前はそれの連れでございますちよつと逢ひたう存じます!』×『娘は居るよ、十八九の娘が一人……ダガ其の連れ、ハテネ』とマヂ／＼宗一の顏を見知つて居ります、此のマヂ／＼人に見られると云ふのは、甚だ氣分の惡いもので、宗一もムッとしたが、始めて來た寺、見られるのも當然だと思ひ直し 宗『夫れだ／＼、十八九の娘、それに違ひねへんで、江戸から送つて來た途中、雲助達に置いてけ堀をくつて、方々探しやした、一體雲助達は何處へ行きやがつたんで……』×『カゴ屋かカゴ屋は他でもない、浦賀までおつかひに行つたのだ』宗『ふてへ奴等で、大切のお客を棄てぽかしにしやがつて、何だつて浦賀などへ行きやがつたか……!』

時代警句（獨歩）
○人は自家の境遇以外容易に他の境遇を知る能はず、他の境遇には餘りに注意せざるものなり……（欺かざるの記）
○人を知らんと欲せば其の境遇を知らざるべからず人を描かんと思へばその境遇を熟知せざるべからず……（同）

ラヂオ
仙臺 JOHK ……十七日（火曜）……

△前七、〇〇 七、三〇B ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象通報
△九、〇五A 經濟市況
△九、一〇 ローカル 料理 献立 一、おなごの鳴戸羮 二、ほうれん草麵の子合 佐藤三造發表 日用品値段
△九、三〇 一〇、三〇A 經濟市況
△一〇、三〇 一一、〇〇 ローカル 家庭講座（如何にして奉祀の誠を致すべきか）當山春三
△一一、四〇A 經濟市況
△正午 時報
△後〇、〇五 〇、四〇A 狂言 廣
△〇、四〇A 全國ニュース ニュース 氣象通報 告知事項
△一、〇〇 一、五〇A 經濟市況
△二、〇〇 二、三〇A 家庭講座（三味線のお稽古第七講）杵家彌七
△二、三〇A 經濟市況
△三、四〇 氣象通報
△三、五〇 經濟市況
△四、〇〇A 全國ニュース ニュース
△四、一〇 六、〇〇B 角力中繼（京都大角力五日目）
△五、三〇A 經濟市況
△五、四五 今晩の番組豫告は右角力中繼を中斷して放送す
△六、〇〇 六、三〇C（子供の時間）對話劇（名古屋城）テキスト一二ページ 名古屋鯱會
△六、三〇 七、〇〇A 英語講座（中等科第四講の四）非手義行
△七、〇〇A 全國ニュース（官廳ニュースを含む）ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告
△七、二五 八、〇〇A 講演（第二師團の滿洲駐劄に就て）第二師團長陸軍中將多門二郎
△八、〇〇 八、三〇B 放送舞臺劇（土屋主稅）土屋主稅…中村雁治郞、大高源吾…中村魁車 外
△九、〇〇 九、三八A 萩江節
△九、四〇A 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項

移轉披露
弊店儀毎々多大の御引立を蒙り以御蔭樣年增繁榮に相赴き今般業務擴張と機械整備の爲め左記へ一月十五日より移轉營業仕候就而は一層製作迅速を旨とし相勤め可申候に付舊に倍し御用被仰付度尙新製品豐富に取揃有之候間何卒御來駕御高覽被成下度奉待上候先は移轉御通知旁々御願迄斯の如くに御座候
（弟子五名入用）
各種挽物 丸盆 木製敎育玩具 木馬類 スケイト製造
平町大町（新舊七丁目四八 磐城共濟病院前）
佐藤挽物製作所 主 佐藤誠孝

吉田眼科病院

夜間診療
胃腸 梅毒
內科 十二指腸虫病 專門 內科部
淋病 皮膚病 婦人病 專門 外科部
松村胃腸性病科醫院（平南町電話一〇七番）

貸切は●●
親しみあるサービスを以つて知られたる!
尼子タクシーへ 電六四〇番
主任 澤正路

生徒募集
一、本科　一、普通科　一、新設農蠶科
入學資格 高等科卒業程度ノ男女 尋常科卒業程度以上ノ男 高等科卒業程度ノ男女
一、右各科共ニ入學試驗ハ行ハズ願書受付順ニ入學ヲ許可ス
一、新學期開始 四月六日
一、詳細ハ規則書請求ノコト
昭和六年三月 平町六間門二十番地
磐城佑賢學舍（電話九三）

白熱的斷然大安賣
男女學生カバン 一等品 金二十五錢
男女學生手提 一等品 金五十錢
牛革製ランドセル 一等品 金二圓廿錢
日本一のカテイカメラ 附屬一揃 金五十錢
同 特等品 金九十錢
六吋ゴムマリ 金二十五錢
特ニ學生カバン類ハ製造元ヨリ直接大量ニ仕入シ爲メ市價ヨリ約三割安ニ御願申上ラレマス其他大小玩具諸糸類何品ニヨラズ此際利益度外ノ大安賣
平町一丁目 森下商店 商號（豆屋）

▲債權債務の整理引受を開始致しました
○品代金の取立て及貸金の取立引受
○全國各地の取立ても引受ます
○借金でお困りの御方の整理引受
▲資産、信用、人事調査引受
○全國、海外調査通信聯絡
○料金僅少御報參上
經濟の調査機關 商業興信所（平局私書函六號）平町字胡摩澤 電話二九一

第卅三回 産婆看護婦生徒募集
一、卒業年限 兩科ヲ通ジテ一ケ年
一、入學資格 高等小學卒業又ハ同等以上ノ學力有ル者ヘ無試驗入學ヲ許ス
一、申込期間 四月八日迄
平町一丁目（電話三五七番）
石城産婆看護婦學校 校長 鷹崎千代

笠間稲荷神社參拜 團体募集
▲期日 昭和六年三月廿六日（舊二月八日）午前五時南町丸邑ホール集合 同日正六時出發
▲道程 自動車往復 笠間神社參拜祈禱 歸途礒濱大洗神社 明治記念館拜觀 魚來庵ニテ中食 村松山虛空藏尊參詣、同日歸平解散
▲會費 金四圓卅錢也（卽納ノ事）
▲申込日 三月廿日迄トス
平商工團 笠間神社參詣團体申込所 電話四二九
後援 いはらき新聞平支局

カバンと學帽の大衆的標準價格
●學帽は十五錢より
●カバンも勿論格安品計りです
●お子樣方の爲に是非御ニ覽下さい
買よき店 モリタヤ洋品店 5丁目 電353

廿餘名博士 五十餘名醫大家 推奬 胃腸病、婦人病必治法
定價・特大 拾參圓 特小 拾圓
ラヂウム温灸治療器 東京理學療院後援
五週年紀念景品付大賣出し
期間 自三月一日至三月卅一日
景品 特大一ケニ付艾法藥一ケ 特小一ケニ付艾一ケ 卅五日分
其他粗品進呈
特約部 平町五丁目廿八 志賀齒科醫院 平町白銀町九 産婆 關口悅子

春衣新柄御案內
最も新らしき柄の銘仙とモスリン着尺
優秀特選 春の帯側
いづれも新品豐富に取揃へました是非御覽下さい
三井呉服店

月曜論壇

町民は殃なる哉

六十萬圓以上の歳入歳出を委員會本會議とも僅に三日間にして檢討し而も無修正裡に完了したと云ふ福島市の豫算審議振りは去月下旬來休會の期間を加へて約半月その間可なりの修正を加へられ始めてその可決確定を見るに至つた平町のそれに比しその審議振りの内容に於て所謂月鼈霄壤の相違を有し常に町會の紛糾に對して慊焉措からざる吾人町民をして漫ろに一種羨望の念に堪えざらしむるものがある

○

惟ふにその審議が一氣呵成的に進行した事を以て直に議案を鵜呑みにした結果なるものの如く輕忽なる斷定をゆるさゞるものあると同時に審議の停滯遷延は遂に豫算の編成技術に何等かの遺漏欠陥があつた爲め其間の檢覈に多くの時間を要したと云ふ證左にはならない、要はその審議機關の各個に就て内部の統制如何を觀察し理由をここに歸納するに非ずんば決して正鵠を得たる斷案は生れて來る筈がない

○

斯くの如き見地に立つて靜かに平町豫算委員會の建て前を顧みると審議の曲折と之れに伴ふ時間の遷延とは蓋し當初から運命づけられてあつた處で今更敢て怪しむに足らざる結果のみと云はざるを得ない更に露骨に云ふなれば委員の人選に多くの政策が加味され最初から甲乙(?)兩勢力の均衡を失しその間如何にしても虚心坦壞なる態度を以て豫算面に朱筆を加ふる事が出來なかつたと云ふ事になる

○

更に竿頭一歩を進めてその間の消息を白日下に暴露するなれば甲は神經鬼劃を廻らす好箇のリーダーを有したるに反し一方は常に欠席等の事故によつて同志を適從せしむるコンダクターを缺いた許りか數に於て若干の弱味を有してゐた。如斯過程が生める或る物の膨入決定或る項目の削減其他等。等の豫算に支配さるる町民は眞に殃なる哉

美形揃ひの大餘興に 花見氣分を强調
舞臺を常設して舞踊を公開 三春行樂の催し決る

平町當局及藝妓屋組合等が今年花どきの客引き方法に就て効果百パーセントの珍趣好を凝らしつつある旨既報の通りであるが書き入れの行樂季も愈々一と月足らずの目睫に迫つたので藝妓屋組合では昨十五日臨時總會を開催協議の結果來月早々公園常磐前の廣場に舞臺を設け、十二日（日曜）十五日、十六日、十七日十八日、十九日（日曜）の六日間晝夜四回宛目もあやなる平美形連の舞踊を公開し一般をして大に花見氣分を滿喫せしむる事に決定したが、だし物は

元祿花見踊り、藤娘、屋敷娘、端唄色々、五郎時致、磐城甚

の六種で登場美形五十名は品澤（踊り）眞佐の家（三味）の兩女將に分屬し早くも猛練習に着手した。來ん花どきの賑ひは今から豫想するに難からぬものがある

宇山船長丈けて 未發見の四死体
江網港口の遭難横死者 大學出動捜査中

双葉郡久之濱町字江網渡邊清六所有機船稲荷丸（廿五馬力卅ドン）は船長宇山辰之助(四)外十名乘込み十五日午前三時半頃出漁すべく同港口にさしかかつた際激浪に襲はれ暗礁に乘り上げ船體まつ二つとなつて難破したので町では警鐘を亂打し救助に向つたが損害約一萬圓で宇山辰之助(四)新妻源太郎(四五)島田馬吉(四五)渡邊清重(一七)優井歳松(三一)の五名は行方不明となり午前十一時ごろ宇山の死體が發見されたが他は今以つて發見されぬので地元水難救濟會六十名消防組青年團百名が協力捜査を續行中である

平産婆看護婦學校卒業式
來十九日擧行

平町南町清野きよ女史經營の平産婆看護婦學校第二十四回生卒業證書授與式は來る十九日午後二時から擧行するが卒業生氏名次の如くである

（産婆科）（好間）猪狩とよ（平）渡邊ふさ、渡邊淑子（江名）加瀬靜子（平）神野はる（赤井）柏原とき（内郷）吉澤なを（平）佐藤あさ（相馬金房）宮川とみよ（川前）永山マツヨ（平）小野寺ミドリ（大野）兒玉フサ（平）遠處ハツヨ（双葉川内）遠藤イチ（好間）佐藤ユイ（相馬中村）佐藤シ（夏井）木田千枝（大浦）鈴木キヱ　（十八名）

（看護科）（江名）伊藤テル（川前）猪狩トヨ（四倉）猪狩ヒサ（平）渡邊フサ（平）渡邊ヨシ子（平）神野はる（江名）加瀬靜子（赤井）柏原トキ（好間）小林スガ（平）小林玉子（平）佐藤アサ（平）兒玉フサ（双葉富岡）小松キク（好間）小林ヤイ子（相馬高平）木幡秀子（双葉川内）遠藤イチ（平）遠藤ハツヨ（平窪）有坂ハルヨ（相馬中村）佐藤ヨシ（内郷）吉澤なを（平）小野寺みどり（多賀日立）小澤八千代（川前）永山マツヨ（平）長瀬照子（内郷）山崎すみ（内郷）山崎トミ（双葉長塚）後藤ミネ（夏井）木田千枝（平窪）松崎ハル（相馬金房）宮川トミ（多賀松原）瀬戸勝江（植田）山村コウ（川部）深谷ハツ（植田）鈴木花ヨ（平）鈴木ハル（江名）鈴木光子（磐崎）國井民子　（三十七名）

郡農會役員
滿期改選結果

郡農會では十四日午後一時から同所樓上で役員の滿期改選を行つた結果左の如し

組長酒井猶次、副高萩正一、評議員樋口幸右エ門芳賀義虎、鷲三郎、志賀直哉、鈴木喜三郎、佐藤倉治、植田萬次郎、縣代議員高萩正一、緑川義白豫備員鈴木道治、上遠野新重郎

投檜 寄書歡迎

先生に御願ひ

◇昨十五日の日曜は朝來の梅見日和であつた爲松ヶ岡裏公園の人出は午後二時頃には約五百餘名程に達し梅も丁度今が見頃で疲れた心を慰めるには充分であつた殊に梅樹の下に嬉々として遊び戯むるる多數の子供らは自轉車、自動車の交通の脅威から開放されて眞に樂しそうに見えた

◇併し子供達が相撲をとるもの、鬼ごつこをするもの、梅の枝でブランコするもの、木へ登るもの、枝を折るもの實際亂暴狼藉至らざるなしの處へ散策する大人達も强ひて之を止め樣とはせぬ爲見事な技が可成り折られてゐるので甚だ遺憾だと思つた

◇恁んな事は子供達の無邪氣がそうさせたのだとは思ふが何かの折にふれ學校の先生から良く注意して戴きたい　（鎌田RA生）

ガラスの破片

◇燦々たる春光を滿身に浴びて用意の辨當を開いたピクニックの吾等親子四人は世にも幸福なものでありました。吾等は飲み食ひ而して心ゆく許り松ヶ岡南崖の梅見氣分にひたつてゐたのでした

◇そうしてゐるうちにフト火のつく樣な幼兒の泣き聲に愕いてその方を見ると五つ許りになる女の子が轉んだ拍子に掌を傷めたものと見え血に染つた手を押へ乍ら母を呼んでゐるのでした見ると何者の不良の仕事でせうか粉微塵にされた正宗瓶の破片が四邊一面に散つてゐるのを見た吾等一家族は急に興がさめてその儘引上げて來ました

◇町役場のお係りさん此の場合一つ我が子の怪我に涙ぐみ乍ら繃帶をしてやる親の身にもなつて見て下さいませんか。豫算のあるなしなどは問ふ處でありません、そろ〳〵公園の人出も多くなります、何とかこの邊の危險除去に就て御一考を煩します　（舊城跡の一母性）

小兒の弄火から 夏井で一戸全燒
注意を要するマツチ置場 一寸の油斷でこの大事

夏井村大字山崎字熊の宮八○農志賀長太郎(五七)方から昨十五日午前九時四十分發火住家一棟を全燒し同十時十五分鎭火したが損害六百圓原因長太郎孫武男（五ッ）と隣家志賀傳長男明男（六ッ）の兩名が同家裏手に於てマッチを弄び居る内藁ボッチに燃移つたものであると

湯本では二棟全燒
原因炬燵の不始末

湯本町大字湯本字三函七二三業組合健康診斷所より十四日午後七時頃突然發火同家一棟及隣家飲食店澤松夫方一棟全燒高木茂方半燒同五十分鎭火した損害千七百圓原因は留守居番小林マスノの炬燵の不始末からであると

各方面へ手配中の 惡周旋屋捕はる
湯本町の高橋隆雄 平署員一の關へ急行

湯本町字三函高橋隆雄(三)は周旋業をしてゐるのを寄貨とし昨年十一月頃から吉田フク(一八)外一名の婦女を誘拐したが平署の警戒が嚴しいので本年一月頃から行方をくらまし平署では全國に手配して逮捕に努めてゐた處十四日午後八時頃一の關署員に擧動不審として逮捕された旨十五日午前十時平署に通知があつたので平署から半澤刑事外一名が引取りの爲十五日夜行で出發した

産科婦看護婦卒業生
明日證書授與式

平町一丁目石城産科婦看護婦學校第三十一回の卒業生證書授與式は明十七日午後一時から擧行するが卒業生次の如し

（産婆科看護婦科兼修）佐藤喜美子、長岡サク、大場トミヱ、富田シヅエ、大木千代子、小沼サツキ、村田マスヨ、赤塚ハツ子、反保ハナ、箱崎キヌ、松本ヤス、村山フサ、額賀榮子、草野マツ子、根本節、齊藤信、蛭田マル、阿久津リツ子、鈴木ヨシ若松セイ子、鈴木シヰイ、渡邊マサヱ、本田キミ、原田シヅ子、八幡常子、川上ノブ、松野尾竹子、渡邊ヨシ、猪狩敏子、中根貞子、長塚ハツノ、鈴木ヤス子、佐藤ウメ、大和田時子、渡邊末子、大谷雪子、芳賀スミ、村上フク、橋本スミ子、芳賀ノブ、齊藤キミ

（看護婦科）小針はつ、橋本茂子、澤田はつ、松本ちゑ子、味岡妙子、吉田つま、小泉まき、白土のぶ、大友みどり、安田美知、渡邊いね子、安齋みえ

（産婆科）鈴木はな

大根然たる脛の邊り イツトは發散するよ
萬華鏡面に映ゆる タヒラ女學生氣質

女らしさを吹き飛ばし春に魁して勇躍するもの——ローカル・カラーとモダン色のカクテルに醉ふて、處きらはず大根然とした脛を露出しイットを振りまいて潤歩するタヒラ女學生氣質を擴大して見るのも一興だ

——○——

『市井に群がるインチキ男マルクス帽子にラッパのズボン、彼等の三度のたかずを見れば瘦せるも道理よ、菜つ葉のお汁』タヒラ女學生間にはひそかにこんな歌が流行してゐる、さりながら古事記の『なりなりて』以來男と女は昔から仲がよかつたものだ、然るに何ぞや『インチキ男だの菜つ葉のお汁』だのとかほどまでに毛嫌ふその心理が不可解である『ナニ云つてんだい薙刀は×流、○△先生の直傳だよ、ソラお面だ、次はお足とお胴と參り、さてそれから水車に横車』てな具合でたちまちのばしてしまうつもりの武道お稽古。でも流石の猛者も女性です弓で的を狙ふ時には、未來の戀人の胸を射るやうに胸を高鳴らせて居るんです。

——○——

ランニングで斷然他を壓倒してゐる某女生は流石にテンポが速い、若しよかつ質問して見給へ『暴漢たらどうする?』『逃げるかチャームするかどつちかするわよ』とたちどころに答へる『それぢや武道稽古も役には立つまい、あんまり卑怯ぢやないかいナ』と叱つちやいけない。彼女等は地球の丸い事を知つてるんだ。逃げるのは追つてると同じ意味だからね。

——○——

薙刀で人形の首を落して先生の氣を惡くした娘、お——を喰べて追つて來た先生を卷いてしまつた二百米の選手——腹の皮が脊骨にキスしたと稱して飯を六杯食つてズロースの紐を切つた彼女——知つた振してエスカレーターを逆に驅け上つた娘。

——○——

玆一兩日中に巣立つこれ等の女性は、十一文のスパイクで驅落ちし片手に赤ん坊をボールの樣に弔し下げテニスの樣に亭主を手玉にとる位はわけのない話し——だからつて何も君の事を云つてるんぢやないよ。

催促を憤る
只飲みの刑餘者 平署に留置

當時住所不定無職岩手縣江刺郡生れ前科四犯佐藤一夫(三六)は昨十五日湯本町三函飲食店郡司セイ方に至り二圓八十錢分の飲食をなしイザ勘定となるや矢庭に側の鐵瓶を投げ出し亂暴を始めたので平署員が連行目下餘罪ある見込で取調べ中であるが一夫は今月八日水戸刑務所を出たばかりの男であると

ドブ板で毆る
赤井の喧嘩騷ぎ

赤井村大字日渡農遠藤茂平(四二)は十二日午後二時頃同村飲食店益田屋事益田三郎方で飲酒中折柄來合せた同村不動澤土木請負業吉田佐内(五二)と些細な事から喧嘩を始めドブ板を以て相手の頭部を毆打し全治三週間の傷を負はせ被害者は平町田町安齋醫院に入院加療中であるが今十六日平署へ傷害の告訴した

赤井嵐

◇藝者も毛糸の股引を穿くようになつてはウンザリするね!『ダッテ下にはくんだもの』頭へはくヤッがあるかへ◇さる程に馬鹿に落ちついでゐる筈のお鯉が、その股引を片一方だけ足を突ッ込んだのは好いが、殘つたのを背中へ背負ひこんで溶してお座敷に出掛けたといふのだ。からフザケてる◇本人の辯明によると風呂屋で湯に漬つてる處へお座敷が掛りアンマリ急いだもんだからといつてるが何處かでキャッチ、ボールをやつたんだらうと體驗ある外の藝者はいつてる『イヤになつちまふせ、姐さん株の癖にサ』

○……○

自動車に轢かれ 手當効無く絶命
自宅附近國道を通行中 奇禍に遭た湯本の老婆

湯本町大字湯本字辰之口九志賀フヨノ(六五)は昨十五日午前八時五十分頃同字地内を國道通行中折柄疾走して來た同町天王崎鈴木自動車部運轉手茨城縣那珂郡柳河村大字青柳六五三生れ川又正雄(三六)の自動車に轢倒され頭部肢部に重傷を負ひ入山病院で應急手當を加へたが今十六日午前五時頃遂に死亡したと

※……※ 明日の吉凶 ※……※

舊暦一月廿九日　新暦三月十七日

▲一白の人　目前の小利に齷齪せず永遠の計を立つべし▲二黑の人　前後を省ざれば逆運に見舞はるることあり▲三碧の人　物に動せず根氣强ければ善き一日たるべし▲四綠の人　塵も積れば末遂に山を爲す萬事怠らぬこと▲五黄の人　正と思ひし事も先づ識者に諜り後行ふべし▲六白の人　人一倍の勞を積むときは運氣自ら吉となる▲七赤の人　我を苦しむるは我を愛するものと思つて勵め▲八白の人　根氣つよく働く時は貧乏神も忽ち逃出すべし

産婆、看護婦生徒募集
一、今や入學の好時期なり 來りて成績優秀なる學校に入學せられよ
一、申込 四月八日マデ
平南町 電話三〇七番
平産婆看護婦學校
校長 清野キヨ

産婆開業
私事三井鑛業株式會社湯本鑛業所に開業致して居りましたが今般左記の處に轉居開業致しました何卒御引立をお願申上げます
姙婦。産婦。褥婦。生兒 安全に努めます
御困りのお方には無料で御扱ひ致します
平町字田町五十二番地（安齋外科醫院入口角）
産婆 白石テル
呼出電話 六五三番

醫院開業
私儀今般左記場所に醫院を開業診療に從事致すべく候
平町新川端（釜屋新宅向）
難波醫院
醫學博士 難波睦
電話五〇二番
内科一般
（午前宅診（午前九時より）午後往診 但し急患は此の限りに非ず）

外科
平新川町十九
木村病院
内臟外科 整形外科 外科一般
醫學士 松永憲一
◇産婦人科院長從前通り診療

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅物
釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は久の生命なり

貸切の御用命は?
獅子吼(シシク)(四四九)の勢(イキホイ)で
眞先(マツサキ)に(マツサキ)
三九二(ミクニ)タクシーへ